

エコアクション21

環境活動レポート

平成29年度

対象期間：平成29年10月～平成30年9月

発行日：平成30年10月22日

株式会社 日豊建設

1. 組織の概要

1. 事業所名 株式会社 日豊建設
代表者氏名 代表取締役 吉廣 勝太郎
2. 所在地 〒811-1123 福岡県福岡市早良区内野1丁目25番5号
3. 環境管理責任者 工事部長 小野 智明
担当責任者 総務部 江頭 寿夫
連絡先 TEL 092-872-4611
FAX 092-803-1411
Eメールアドレス egashira@nippo-k.com
4. 事業の内容 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業
解体工事業
5. 事業年度 10月～翌年9月

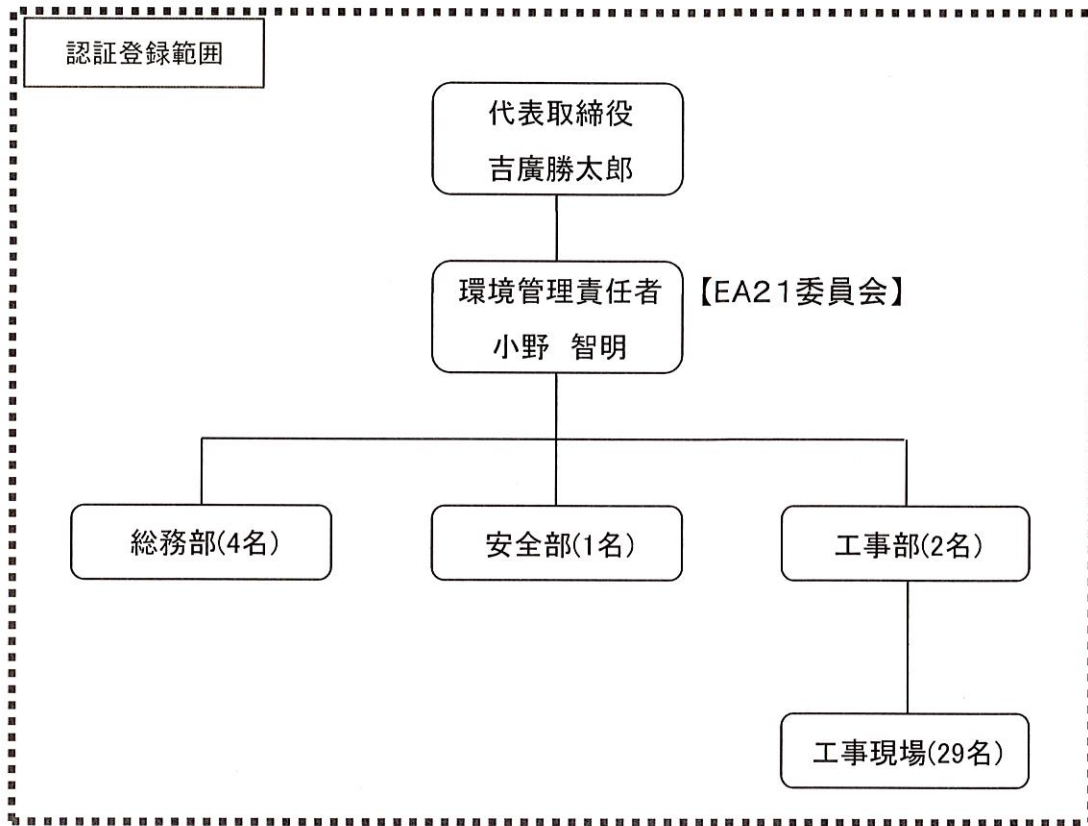
事業の規模

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	百万円	685	1,368	1,447
従業員数	人	41	44	38
事務所床面積	m ²	895.2	895.2	895.2
倉庫床面積	m ²	41	41	41

6. 取得資格名及び有資格者数

- ・1級土木施工管理技士 : 11名
- ・2級土木施工管理技士 : 5名

2. 対象範囲【全社・全事業】



【役割分担表】

所 属	氏 名	役割・責任・権限
代 表 者	吉 廣 勝 太 郎	<ul style="list-style-type: none"> EA21全体について責任と権限を持つ 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する 環境への取組を実施する為の資源(人・物・金)を準備する 取組状況に関し、評価・見直しをする
環境管理責任者	小 野 智 明	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、実行・維持する 取組結果を代表者へ報告する
総 務 部 (事 務 局)	横 江 純 一 夫 江 頭 寿 夫	<ul style="list-style-type: none"> EA21文書の作成・維持・管理を行う 環境関連法規を整理し、取りまとめる 電力・節水の管理を行う
安 全 部 工 事 部	田 中 幸 夫 武 石 伸 二 堀 川 和 範	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐を行う 廃棄物の削減・分別・リサイクルの管理を行う 車両の燃料抑制の管理を行う
EA21委員会	上記メンバー	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の状況報告 環境活動計画の見直し・検討を行う

3. 環境方針

環 境 方 針

当社は土木建設業を主な事業とし、事業活動を通じて地球に与える環境負荷を認識し、環境経営システムによる継続的な環境負荷の低減に努め、限りある資源と地球環境の保全を推進します

1. 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。
 - a. 省エネ・省資源活動の推進
 - b. 廃棄物の削減とリサイクルの促進
 - c. 水資源の使用量削減
 - d. 地域貢献活動
 - e. グリーン製品の使用を促進
 - f. 化学物質の適正管理
 - g. 環境に配慮した現場施工
2. 事業活動に関わる環境関連法規制等を遵守する。
3. 環境活動レポートを公表し、地域社会とのコミュニケーションを図る
4. この環境方針を全社員に周知し、環境負荷の低減に対する意識向上に努める。

平成21年 8月1日
改定日：平成23年10月1日
改定日：平成26年2月10日

株式会社 日豊建設

代表取締役 吉廣 勝太郎

4. 環境目標

1. 単年度目標

【事務所及び現場】

環境目標		単位	H25年度(基準年)	H29年度
			(H25年10月～H26年9月)	(H29年10月～H30年9月)
事務所	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	44,084	42,541以下 (△3.5%)
	(1)電気使用量の削減	kWh	47,926	46,249以下 (△3.5%)
	(2)ガソリン使用量の削減	ℓ	4,508	4,350以下 (△3.5%)
	(3)灯油使用量の削減	ℓ	1,611	1,555以下 (△3.5%)
現場	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	510,523	492,655以下 (△3.5%)
	(1)ガソリン使用量の削減	ℓ	34,762	33,545以下 (△3.5%)
	(2)軽油使用量の削減	ℓ	162,293	156,613以下 (△3.5%)
事務所	廃棄物排出量の削減	t	8.41	8.12以下 (△3.5%)
事務所	水使用量の削減	m ³	529	510以下 (△3.5%)
事務所 現場	地域貢献活動	回/月	4	4
事務所 現場	グリーン製品の使用促進	—	グリーン製品の優先購入	グリーン製品の優先購入
現場	化学物質の適正管理	—	使用する製品に含まれる化学物質の把握と管理を行う	使用する製品に含まれる化学物質の把握と管理を行う
現場	建設リサイクルの推進	—	現場での分別を徹底し他の工事で使用できる物を有効活用する	現場での分別を徹底し他の工事で使用できる物を有効活用する
現場	環境に配慮した現場施工	—	環境にやさしい低公害機械、器具使用の推進	環境にやさしい低公害機械、器具使用の推進

※ 電力排出量の排出係数は、平成24年度九州電力(株)実排出係数「0.612kg-CO2/kWh」を使用

※ 備考:(%)は、平成25年度を基準とした削減率

2. 中長期目標

【事務所及び現場】

環境目標		単位	H29年度 (基準年)	H30年度	H31年度	H32年度
			(H29年10月 ～H30年9月)	(H30年10月 ～H31年9月)	(H31年10月 ～H32年9月)	(H32年10月 ～H33年9月)
事務所	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	34,012	33,842以下 (△0.5%)	33,672以下 (△1.0%)	33,502以下 (△1.5%)
	(1)電気使用量の削減	kWh	46,244	46,013以下 (△0.5%)	45,782以下 (△1.0%)	45,550以下 (△1.5%)
	(2)ガソリン使用量の削減	ℓ	3,459	3,442以下 (△0.5%)	3,424以下 (△1.0%)	3,407以下 (△1.5%)
	(3)灯油使用量の削減	ℓ	1,139	1,133以下 (△0.5%)	1,128以下 (△1.0%)	1,122以下 (△1.5%)
現場	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	476,035	473,655以下 (△0.5%)	471,275以下 (△1.0%)	468,894以下 (△1.5%)
	(1)ガソリン使用量の削減	ℓ	28,663	28,520以下 (△0.5%)	28,376以下 (△1.0%)	28,233以下 (△1.5%)
	(2)軽油使用量の削減	ℓ	155,820	155,041以下 (△0.5%)	154,262以下 (△1.0%)	153,483以下 (△1.5%)
事務所	一般廃棄物排出量の削減	t	0.31	0.308以下 (△0.5%)	0.307以下 (△1.0%)	0.305以下 (△1.5%)
	産業廃棄物排出量の削減	t	18.40	18.31以下 (△0.5%)	18.22以下 (△1.0%)	18.12以下 (△1.5%)
事務所	水使用量の削減	m ³	509	506以下 (△0.5%)	504以下 (△1.0%)	501以下 (△1.5%)
事務所 現場	地域貢献活動	回/月	4	4	4	4
事務所 現場	グリーン製品の使用促進	—	グリーン製品の優先購入			
現場	化学物質の適正管理	—	使用する製品に含まれる化学物質の把握と管理を行う			
現場	建設リサイクルの推進	—	現場での分別を徹底し他の工事で使用できる物を有効活用する			
現場	環境に配慮した現場施工	—	環境にやさしい低公害機械、器具使用の推進			

※ 電力排出量の排出係数は、平成28年度九州電力(株)調整後排出係数「0.483kg-CO2/kWh」を使用

※ 備考:(%)は、平成29年度を基準とした削減率

5. 環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		統括 責任者	活動項目		責任者
1	電気使用量の削減	横江	1	エアコン設定温度を決め、実行する(夏28℃ 冬20℃)	江頭
			2	使用箇所だけ点灯し、未使用箇所の消灯確認	江頭
			3	昼休みは消灯する(電灯・パソコン等)	江頭
			4	グリーンカーテンを活用し、冷房の使用を控える	江頭
2	ガソリン・軽油使用量の削減	小野	1	社有車をエコカーへ切り替える	堀川
			2	始業前点検を徹底し、故障等の対処を早めに行う	堀川
			3	低騒音・低振動・低燃費の重機の使用	堀川
			4	自動車・重機によるエコ運転の推進	堀川

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		統括 責任者	活動項目		責任者
1	廃棄物排出量の削減	小野	1	廃棄物の分別を徹底する	堀川
			2	ミスコピーの防止・裏紙使用の促進	堀川
			3	使用済み封筒を再利用する	堀川
		横江	4	詰替品利用の促進	牟田

3. 水使用量の削減

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	上水使用・地下水使用量の削減	小野	1	節水活動の推進	江頭
			2	使用量の把握と管理を行う	江頭

4. 地域貢献活動

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	地域貢献活動	小野	1	毎週月曜日の朝礼前に周辺の清掃を全員で行う	江頭
			2	環境の日(6/5)環境保全活動を行う	江頭
			3	地域防災活動に参加する	江頭

5. グリーン購入の促進

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	グリーン購入の促進	横江	1	グリーン製品の優先購入	江頭

6. 化学物質の適正管理

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	化学物質の適正管理	小野	1	使用する製品に含まれる化学物質の把握と管理を行う	堀川

7. 建設リサイクルの推進

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	建設リサイクルの推進	小野	1	現場での分別を徹底し、再利用できる物を有効活用する	堀川

8. 環境に配慮した現場施工

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	環境に配慮した現場施工	小野	1	環境にやさしい低公害機械、器具使用の推進	小野

6. 環境目標の実績

【事務所及び現場】

環境目標	単位	平成25年度 (基準年) 実績	平成29年度		目標達成 の判定	
			目標	実績		
事務所	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	44,084	42,541以下	39,978	○
	(1)電気使用量の削減	kWh	47,926	46,249以下	46,244	○
	(2)ガソリン使用量の削減	ℓ	4,508	4,350以下	3,459	○
	(3)灯油使用量の削減	ℓ	1,611	1,555以下	1,139	○
現場	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	510,523	492,655以下	476,035	○
	(1)ガソリン使用量の削減	ℓ	34,762	33,545以下	28,663	○
	(2)軽油使用量の削減	ℓ	162,293	156,613以下	155,820	○
事務所	廃棄物排出量の削減	t	8.41	8.12以下	18.71	×
事務所	水使用量の削減	m ³	529	510以下	509	○
事務所 現場	地域貢献活動	回/月	4	4	4	○
事務所 現場	グリーン製品の使用促進	—	グリーン製品の 優先購入	グリーン製品の優 先購入	優先購入良好	○
現場	化学物質の適正管理	—	把握と管理	把握と管理	実績なし	—
現場	建設リサイクルの推進	—	分別と再利用	分別と再利用	分別、再利用良好	○
現場	環境に配慮した現場施工	—	低公害機械、 器具使用の推進	低公害機械、 器具使用の推進	低公害機械使用 良好	○

※ 電力排出量の排出係数は、平成24年度九州電力(株)実排出係数「0.612kg-CO2/kWh」を使用

※ 備考:(%)は、平成25年度を基準とした削減率

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組項目		取組結果	評価及び次年度取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電力削減	1 エアコン設定温度を決め、実行する(夏28℃ 冬20℃)	○ 冬場のエアコン設定温度が守れなかったが未使用箇所の消灯や昼休みの消灯確認は良く実施している。 今年度は事務所修繕工事の為、グリーンカーテンに取り組みなかった。次年度は取り組みたい。 次年度も継続して活動に取り組む。
		2 使用箇所だけ点灯し、未使用箇所の消灯確認	
		3 昼休みは消灯する(電灯・パソコン等)	
		4 グリーンカーテンを活用し、冷房の使用を控える	
	燃料削減	1 社有車をエコカーへ切り替える	○ 3月にエコカーへ1台入替を行いました。始業前点検は良く実行されていました。エコドライブ10のすすめを配布しエコ運転喚起を行いました。 次年度も継続して活動に取り組む。
		2 始業前点検を徹底し、故障等の対処を早めに行う	
		3 低騒音・低振動・低燃費の重機の使用	
		4 自動車・重機によるエコ運転の推進	
廃棄物排出量の削減	1 廃棄物の分別を徹底する	○ 再利用できない資材を処分したため目標の達成とはなりませんでした。 廃棄物の分別は良く行われていました。再利用も定着し良く実施されました。 次年度も継続して活動に取り組む。 現場は下請中心の為、廃棄物データは収集できない。	
	2 ミスコピーの防止・裏紙使用の促進		
	3 使用済み封筒を再利用する		
	4 詰替品利用の促進		
水使用量の削減	1 節水活動の推進	○ 節水活動は良く行い目標達成できました。今後も継続して取り組んでいきます。 次年度も継続して活動に取り組む。 現場は下請中心の為、データ収集できない。	
	2 使用量の把握と管理を行う		
地域貢献活動	1 毎週月曜日の朝礼前に周辺の清掃を全員で行う	○ 毎週清掃活動は良く行われている。地域防災活動にも参加しています。 次年度も継続して活動に取り組む。	
	2 環境の日(6/5)環境保全活動を行う		
	3 地域防災活動に参加する		
グリーン製品の優先購入	グリーン製品の優先購入	○	積極的に購入している。 次年度も継続して活動に取り組む。
化学物質の適正管理	使用する製品に含まれる化学物質の把握と管理を行う	実績なし	次年度も継続して活動に取り組む。
建設リサイクルの推進	現場での分別を徹底し、再利用できる物を有効活用する	○	分別・再利用は良く行われていました。。 次年度も継続して活動に取り組む。
環境に配慮した現場施工	環境にやさしい低公害機械、器具使用の推進	○	環境に配慮して機械の選定は良くなされている。 次年度も継続して活動に取り組む。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物、産業廃棄物、適正処理
建設リサイクル法	廃棄物の抑制、再資源化に要する費用の削減
消防法	消防用設備定期点検
環境基本法	事業活動による公害防止、環境保全、環境の日
グリーン購入法	環境物品等の選択
フロン排出抑制法	第一種特定製品の簡易定期点検
労働安全衛生法	労働者への危険有害性の調査、防止措置

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境への取組状況について

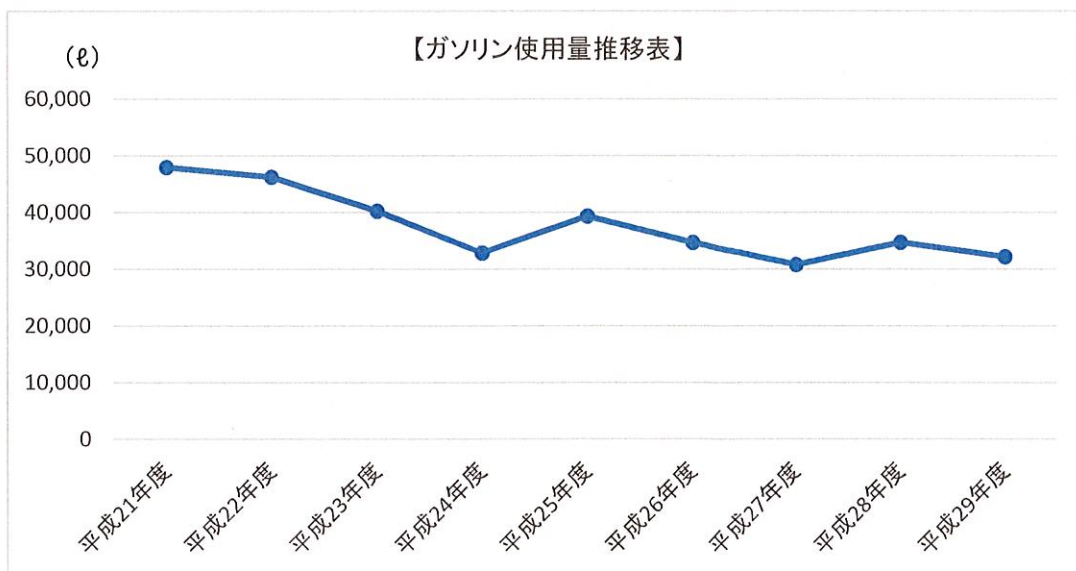
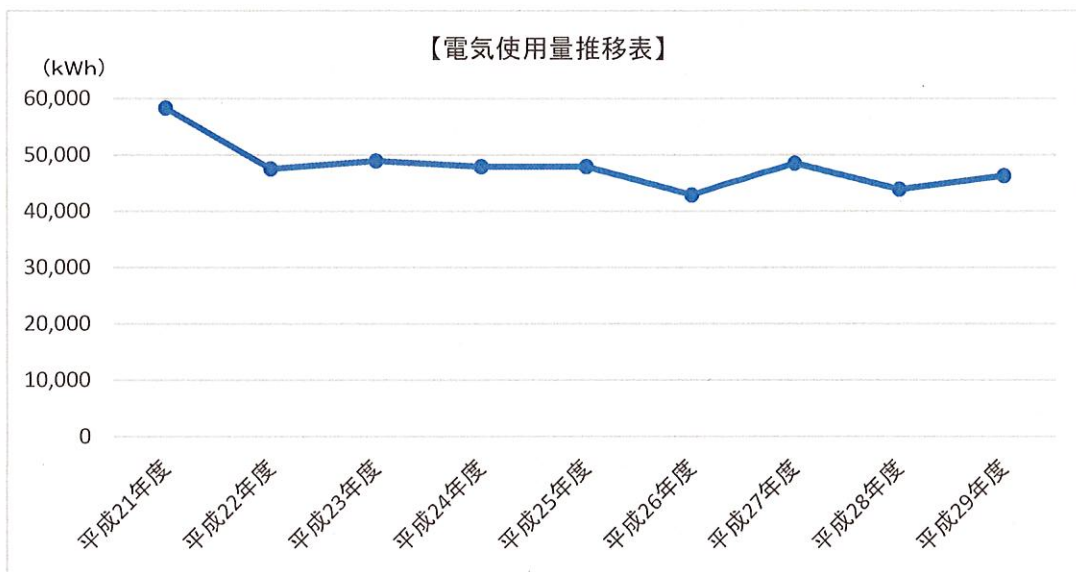
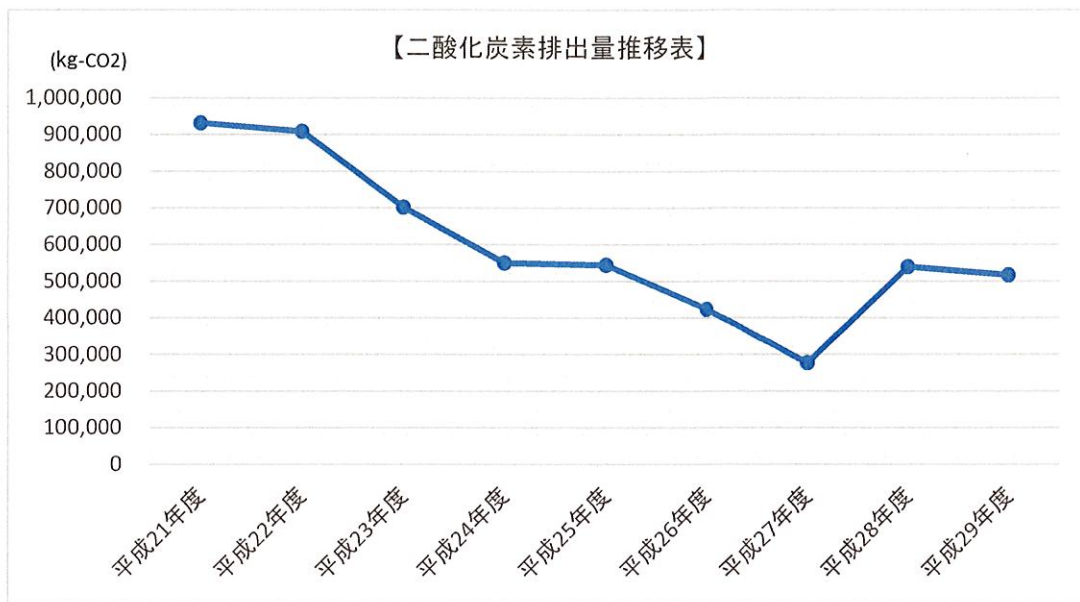
- ・今年度は、二酸化炭素排出量・水使用量の目標は達成できました。
全社員が環境目標達成に向けて環境活動へ取り組んだ結果だと評価致します。
今後も全社員が環境活動への意識向上がするよう、取り組んでいきます。
- ・廃棄物排出量の削減目標は達成できませんでした。
これは再利用が出来なくなった資材の処分によるものです。
廃棄物排出量の削減目標が現在一般廃棄物と産業廃棄物の合算量で設定しています
ので別々に目標を設定する。
- ・地域貢献活動は、毎週の周辺地域清掃の継続、地域防災活動・防犯パトロールへの参加も継続して行っております。

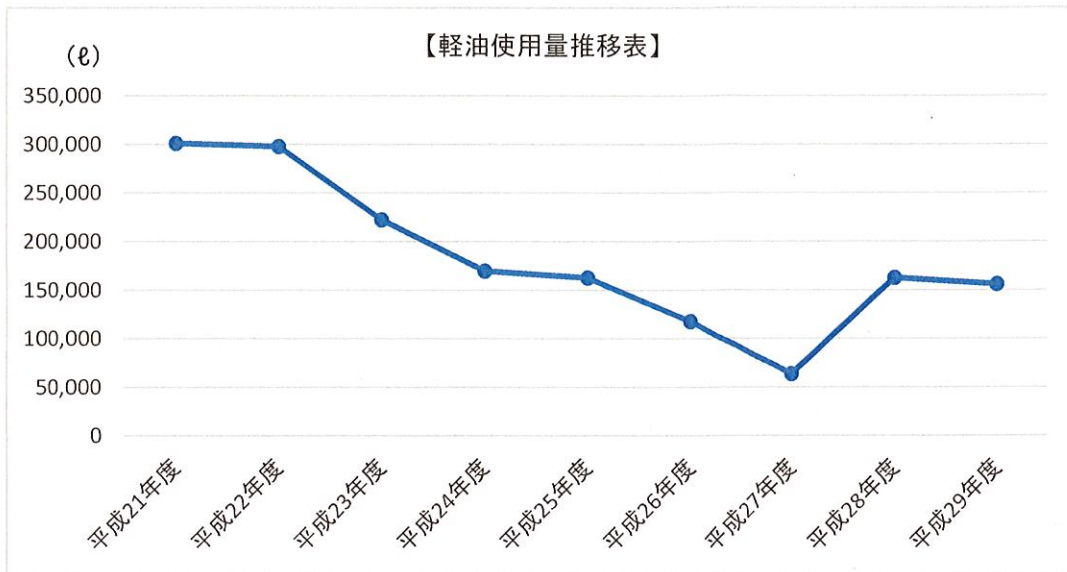
2. 見直しの必要性について

- ・環境方針については変更の必要性を感じないため、継続していきます。
- ・環境目標は現在の基準年(平成25年度)から4年が経過しており、これを見直し
平成29年度の実績を基準年として目標を設定し、全社員の意識向上に取り組んでいきます。
- ・環境経営システムは変更の必要性を感じないため、継続していきます。

10. その他

【環境負荷データ推移表】

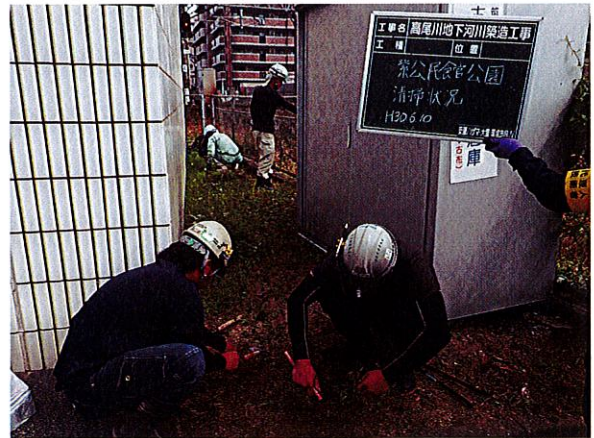




【環境活動状況】



[現場周辺清掃]



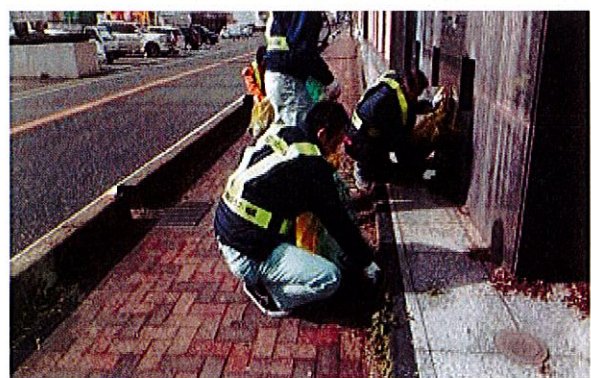
[現場周辺清掃]

【防犯パトロール状況】



[壱岐南小学校付近パトロール]

【道路愛護運動状況】



[道路清掃状況]

(以上)